

# 地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈8月末現在〉

農業▷10人 教育魅力化▷3人  
起業型▷11人 協働型▷9人

## 起業型協力隊

おおや じん  
大矢 仁さん

着任：令和6年4月(1年目)  
出身：新潟県三条市



### —厚真町ではどのような事業をはじめの予定ですか？

ICT(情報通信技術)を活用した森林調査を実施しようと思っています。ドローンなどを使って被災地の状況を把握する調査のほか、写真だけではなく高密度のデータが取得できるレーザー測量可能なドローンを導入することで、森林の資源量をもっと正確に把握する調査も予定しています。今は、設立した株式会社for-est(フォレスト)で活動しています。

### —これまでどのような経験をしてきましたか？

大学では生命科学を専攻していましたが、人間が生きていくうえで必要な水や空気を作り出す森について何も知らないことに気づいて勉強したいと思うようになり、大学院に進んで林学を専攻しました。卒業後、コンサルティング会社に入社し、木質バイオマスや森林の調査などのコンサルティング業務を担当しました。

### —厚真町に来ようと思ったきっかけは？

前職で、「地域活性化起業人」として厚真町に派遣されたことがきっかけです。厚真町では、北海道胆振東部

地震の影響で被災した森林の調査を担当しており、地域で業務を進めていくなかで、小さな困りごとが多くあることに気づきました。これまで自分が培った経験やスキルを生かすことで、解決できることもあるのではないかとこの思いから、独立することを決意しました。

### —厚真町の印象は？

暑さもありますが、過ごしやすい気候で気持ち良く、夜は静かで住みやすい環境です。まだあまり多くの人と関わることができていませんが、優しく人当たりの良い人が多い印象を持っています。もっと町内の人との接点を持ちたいので、町のイベントにはできるだけ参加するように心がけています。

### —3年後の目標は？

まずは、事業を安定させることを目指します。ドローンは、スマートフォンやパソコンのようにもっと身近な存在になると思っていますから、地域の人々がドローンに触られる機会を作っていきたいです。また、自分の山林を購入して、木材生産林だけではなく針広混交林や被災した森林がどのように再生していくのかなど、いろいろと試してみたいです。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



## 令和6年度 くらしのゼロカーボンフェア

省エネ、脱炭素に関する情報や製品等をご紹介します「令和6年度くらしのゼロカーボンフェア」を開催します。

日時 10月12日(土)  
11時～15時

会場 総合福祉センター

入場無料

詳細は9月下旬に公共施設等で配布・  
掲示するチラシや町ホームページで  
お知らせします。

- 北方型住宅Z E R Oに関するセミナー
  - 住宅や住宅設備の省エネに関する製品等の紹介
  - 電気自動車等のクリーンエネルギー自動車の展示
  - 農業をはじめとした産業分野に関する製品や制度の紹介
  - 環境にやさしいランタン工作教室
  - 植物由来ねんどワークショップ
  - 水素発電実験教室
- ※ワークショップなど一部イベントは、教材の数に限りがあるため先着順になる場合があります。

主催：北海道胆振総合振興局 問い合わせ：まちづくり推進課 政策推進グループ ☎27-3179